

能楽入門講座(2/7)のチケットを購入されたお客様は、
提携公演のチケットが **10%割引** で購入できます!!

(無料公演は除く)

【お申し込み先】

大濠公園能楽堂 092-715-2155

2015年 10月

◆ 梅若会演能会

10月11日(日) 13:00開演
 観覧自由席 8,000円 → **7,200円**
 主催：九州梅若会

◆ 多々島囃風会

10月25日(日) 9:30~18:00
 主催：多々島利之

入場無料

2015年 11月

◆ 緑鷹会 舞囃子会

11月1日(日) 10:00~17:00
 主催：鷹尾祥史

入場無料

◆ 一の会

11月11日(水) 10:00~18:00
 主催：飯田清一

入場無料

◆ 今村蛟龍会

11月15日(日) 10:00~17:00
 主催：今村嘉伸

入場無料

◆ 木月達雄 七回忌追善会 能「道成寺」

11月21日(土) 13:00開演
 観覧自由席 8,000円 → **7,200円**
 主催：木月靖盛会

◆ ウィークエンド夜能「鶴」

11月26日(木) 19:00開演
 観覧自由席 3,000円 → **2,700円**
 主催：大濠公園能楽堂／西日本新聞イベントサービス

◆ 河村青嵐会

11月29日(日) 9:30~17:30
 主催：青嵐会

入場無料

2015年 12月

◆ クリスマス能

12月23日(水・祝) 13:00開演
 全席自由 3,000円 → **2,700円**
 主催：(公社)能楽協会九州支部

◆ 子ども能楽教室発表公演

12月28日(月) 14:00開始
 主催：大濠公園能楽堂／子ども能楽教室実行委員会

入場無料

2016年 1月

◆ 大濠公園能楽堂 新春能「菊慈童」

2016年1月11日(月・祝) 13:00開演
 観覧自由席 一般3,000円 → **2,700円**
 主催：大濠公園能楽堂／西日本新聞イベントサービス

◆ 九州宝生会 初春能

2016年1月17日(日) 12:30開演
 脇正面・中正面観覧自由席
 3,000円 → **2,700円**
 主催：九州宝生会

2016年 3月

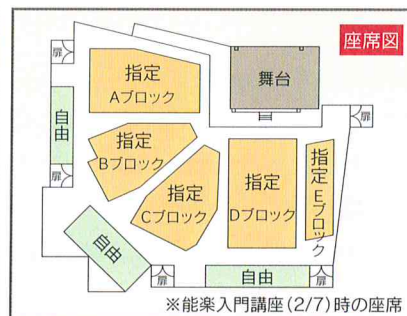
◆ 春の坂口松風会

3月27日(日) 10:00~17:00
 主催：坂口信男／坂口貴信

入場無料

公演スケジュールは変更になる場合がございます。
 大濠公園能楽堂ホームページもご利用ください。

<http://www.ohori-nougaku.jp/>



プレイガイド

料金

エムアンドエム
 大濠公園能楽堂
 チケットぴあ
 ローソンチケット
 【プレイガイド】0570-0841008
 【プレイガイド】0570-0841008

【指定席(イス席)】2,500円
 【自由席(観覧席)】2,000円
 【学生券】1,000円
 ※高校生以下／自由席での鑑賞となります。

チケット
 発売日
 2015年
 10/3(土)

大濠公園能楽堂

2016年
 2月7日

【開演】午後2時 【開場】午後1時半

能楽入門講座

2016

能楽堂へ
 行こう!

能・狂言の上演＋質問コーナーもあり!
 「能楽」ファンもビギナーも、必見の入門講座。



演目
 能「吉野天人」 森本 哲郎
 今村 一夫
 狂言「墨塗り」 野村 万禄

主催 福岡県能楽普及実行委員会／福岡県／福岡県教育委員会／大濠公園能楽堂

後援 福岡市／福岡市教育委員会／(公財)福岡市文化芸術振興財団

提供：横浜能楽堂 (撮影：神田佳明)

お問い合わせ：エムアンドエム 092-751-8257 (平日 10:00~18:00)

解説 …………… 飯田 清一 (15分)

狂言「墨塗」(25分)

シ テ(大名) …………… 野村 万禄
ア ド(太郎冠者) …………… 吉良 博靖
小アド(女) …………… 吉住 講

後 見 …………… 宮永 優子

— 休 憩 (15分) —

能「吉野天人」(50分)

前シテ(里女) …………… 今村 一夫
後シテ(天人) …………… 森本 哲郎
ワ キ(都の人) …………… 江崎欽次朗
ワキツレ(同行者) …………… 江崎正左衛門

笛 …………… 森田 徳和
小 鼓 …………… 幸 正佳
大 鼓 …………… 白坂 保行
太 鼓 …………… 吉谷 潔

後 見 …………… 坂口 信男／今村 宮子

地 謡 …………… 今村 嘉伸／久保誠一郎
山口剛一郎／今村嘉太郎
井内 政徳／小倉康太郎

アフタートーク …………… 坂口 信男／飯田 清一
野村 万禄

16:00終了予定

よし の てん にん
能「吉野天人」

吉野の桜を見ようと連れ立って来た都人たち。満開の桜の山に分け入ると、気品のある女性が現れます。この山に住み、花を友として暮らしているというその女性と時を経つのも忘れ、花見をする一行。

やがて女性は、じつは天人であることを明かし、ここで信心し、夜を明かすならば、真の姿で現れましょうと約束して姿を消します。澄みきった月光のもと、舞い降りた天人は、花に戯れるかのように美しく舞うのでした。

すみ ぬり
狂言「墨塗」

長らく滞在した京都での訴訟を無事に済ませ、晴れて国元へ帰ることになった大名。太郎冠者をお供に連れて、在京中になじんだ女のところへ別れを告げにやってきます。女は別れを悲しんでさめざめと泣き、大名は女の涙にすっかり心を動かされます。実は女が鬢水入れ(びんみずいれ)の水で目を濡らし、涙に見せかけているのを知った太郎冠者は、大名に知らせるのですが…。

め つけ ばしら すみ ばしら
目付柱(角柱)

面をつけているシテの視界は極端に制限されている。そのシテが目印にする柱。

かがみいた
鏡板

能舞台の正面、鏡板には老松が描かれている。老松が描かれるようになったのは18世紀後半あたりかららしい。

シテ柱

きり ど ぐち
切戸口

地謡や後見、斬られ役などが、かがんで出入りする引き戸。

じうたい ざ
地謡座

地謡が座るところ

ふえ ばしら
笛柱

しら す
白州

舞台の周りには白砂、小石などが敷かれている。能舞台が屋外にあった頃には白州の反射光も利用されたという。

きざはし
階段

ワキ柱

はし がか
橋掛け

演者が登場する大切な場。ここで行われる演技もあり、この世とあの世、天と地など、異空間をつなぐ場でもある。

かがみ ま
鏡の間

揚幕の奥。大きな姿見があり、装束をつけた演者が、面をつけ役に入る大切な場。

あげ まく
揚幕

揚幕から演者は出入りする。青(緑)・黄・紅・白・紫(黒)の五色は、日の出から日没までの太陽を表し、また、五行説で木火土金水を表すともいう。

さんの まつ
三ノ松

に の まつ
二ノ松

いち の まつ
一ノ松

舞台に近い方から一ノ松、二ノ松、三ノ松と等間隔に植えられている。一ノ松から順に低くなり、遠近感も出している。

体 験 講 座

2/7(日)
同日開催

鑑賞だけじゃもの足りない! 能楽“体験”講座

時 間 : 10:00~12:00
参加費 : 一般 3,500円
学生 2,000円

※参加費には、能楽入門講座(14:00開演)の入場料も含まれています。

講 師 : 【能】…今村宮子、木月晶子、菊本澄代
【狂言】…野村万禄

笛 …森田徳和 / 小鼓…飯田清一
大鼓…白坂保行 / 太鼓…吉谷 潔



募集 人数 【能】謡・仕舞30名、【狂言】10名
笛5名／小鼓5名／大鼓5名／太鼓5名

※能・狂言に参加される方は、舞台上に立って体験して頂きますので、“白足袋”をご持参ください。
※定員になり次第、受付を終了します。

申し込み先 :
エムアンドエム 092-751-8257 (平日 10:00~18:00)

入場無料

能楽堂に行く前に… ちょっと予備知識を!

能ってどんなもの…?

能についての基礎知識を楽しく学ぶ講座です。

もっと身近に能を知るチャンス!

謡の体験コーナーや、

みなさまからの質問にも答えします!

① 日時 : 2016年 1月10日(日) ①13:30~15:00

会場 : 九州芸文館(筑後市)

出演 : 坂口信男／飯田清一

② 日時 : 2016年 1月15日(金) ①16:30~17:30

②18:30~19:30

会場 : アクロス福岡 円形ホール

出演 : 坂口信男／飯田清一／野村万禄

共催 : (公財)アクロス福岡

